

支 給 支 払 決 議 書			
資格取得		年	月 日
資格喪失		年	月 日
支払年月日		年	月 日

	支 給 額		円
支 給 内 訳	埋 葬 料		円
	埋葬料附加金		円
	埋 葬 費		円
	埋葬費附加金		円

(注意事項)

被保險者
家族 埋葬料(費)・埋葬料(費)附加金請求書

ア、標題の「被保険者」、「家族」の文字は、いずれか該当する文字をマルで囲むこと。
イ、標題は、健康保険の「被保険者証」を⑤の(ハ)欄は事業主から交付された死亡当分の「賃金支払内訳票」などを見て記載すること。
ウ、被保険者が死亡したための請求であるときは、⑥の(ワ)と⑦の各欄に、また被扶養者が死亡したための請求であるときは、⑤の(ア)から(オ)までの各欄に「該当せず」とし、その他の欄は洩れなく記載すること。
エ、⑤の(イ)の欄は、死亡した被保険者の被扶養者で埋葬を行なう者が請求する場合に限り「該当せず」とし、その他の者が請求（この場合は標題の「料」の文字を抹消すること）する場合は必ず記載するとともに、埋葬に要した費用の領収書（費用の内訳）として品名、数量、単価及び金額が明記してあること。なお、証拠書等が外国語で記載されている場合は、翻訳者の住所・氏名を明記した翻訳文を添付して下さい。

① 被保険者証の 記号・番号	第 51 92 号	② 被保険者の勤務 していた、または 勤務している 事業所の	(7) 名称	昭和電線化学株式会社	
③ 死亡した 年月日	平成 23 年 3 月 5 日		(4) 死 亡 原 因	肺炎	
⑤ 被保険者が死 亡したための 請求であるとき はその者の	(7) 氏 名	昭和太郎		(4) 埋葬した日 年 月 日	平成 23 年 3 月 7 日
	(イ) 被保険者の (最後) の標準報酬 月額	470 千 円		(ウ) 埋葬に要 した費用	金 1,552,211 円
⑥ 被扶養者が死 亡したための 請求であるとき はその者の	(7) 氏 名			(イ) 死亡した被 保険者との身 分関係	配偶者
⑦ 老人保健法の 医療を受けて いたとき	市町村 番 号	受給者 番 号		(ウ) 被保険者 との続柄	
⑧ 備 考					
⑨ 振込希望の銀行 又は郵便局名	横浜 銀行 川崎 支店 (普通 第 001215号)		郵便局		
上記のとおり請求します。 平成 23 年 3 月 31 日 健康保険組合理事長 殿					
⑩ 住所 氏名		川崎市川崎区浅田 3-11-6 昭和康子			

オ、⑧欄には被保険者の資格を喪失した後の死亡であるときには、その資格喪失年月を、また死亡のときが死亡の日から三ヵ月前まで健康保険で療養を受けていたときに、その傷病名と健康保険による療養の開始日などを記載すること。

カ、⑨欄は請求者が直接受領するときに振込希望の銀行又は郵便局を記載すること。

キ、⑩欄は、委任により代理受領するときに、代理人の希望する振込希望銀行名又は郵便局名を記入して下さい。

ク、⑪欄は、直接健康保険組合の窓口で受領するときに記入して下さい。

ケ、死亡が第三者の行為によるものであるときは別に「第三者行為による傷病（死）届」をつくって、この請求書に添付すること。

（添付書類）

事業主の証明を得ないで請求する場合は、この請求書に区市町村長の埋葬許可証、火葬許可証の写、死亡診断書、死体検案書、検視調書の写を添付して下さい。

⑬ 委任状	私は 年 月 日 請求した 被保険者 家族 埋葬料(費)・被保険者 家族 埋葬料(費)附加金のうち金 年 月 日 円也の受領に関すること。					⑬ 印 ⑭ 印 ⑮ 印
	請求者の ⑭住所 ⑮氏名					
	代理人の ⑯住所 ⑰氏名					
⑰ 振込希望の銀行又は郵便局名	銀行	支店	(普通第 号)	郵便局		

⑳ 領収書

金 円也但し
うえの金額を領収いたしました。

年 月 日

健康保険組合理事長 殿

受領者 ㉑住所
㉒氏名

㉓
印

事業主の証明	②④ 死亡した者の氏名	昭和太郎	②⑤ 死亡した者	被保険者・被扶養者
	死亡した年月日	平成 23 年 3 月 5 日	死亡	
	うえのとおり相違ないことを証明します。 平成 23 年 4 月 3 日 事業主 ②⑥住所 川崎市川崎区銅管通4-13-12 ②⑦氏名 昭和電線化学株式会社 代表取締役社長 健保 誠一			

三
(28)
印